

NEWS RELEASE

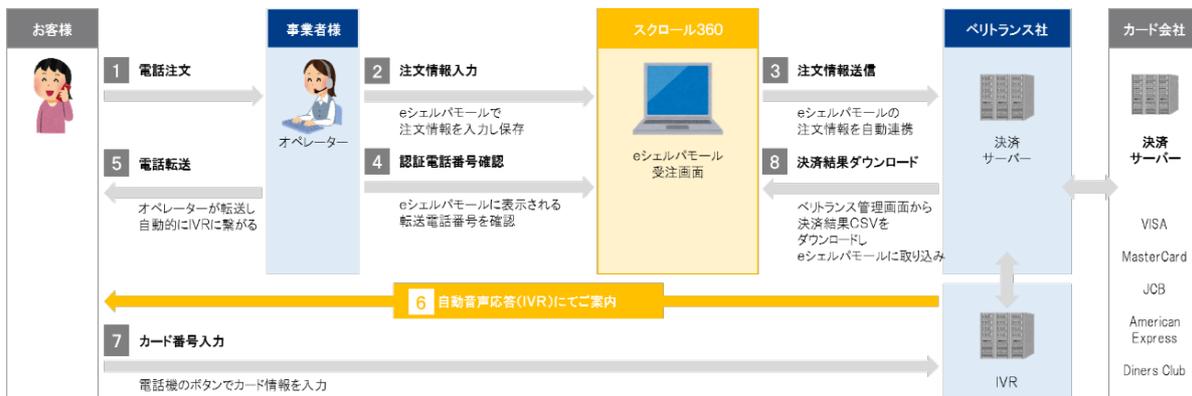
**ベリトランス、「IVR 決済ソリューション」を
スクロール360のEC一元管理システム「eシェルパモール」に提供
～電話受注時における、EC事業者環境でのクレジットカード情報の非保持化を実現～**

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）の子会社で、決済事業を手がけるベリトランス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員社長：篠 寛、以下：ベリトランス）は、株式会社スクロール360（本社：静岡県浜松市中区、取締役社長 山崎正之）が提供する EC 事業者向け一元管理システム「eシェルパモール」に対し、電話受注時の音声自動応答型クレジットカード決済サービス「IVR（音声自動応答）決済ソリューション」の提供を開始しました。

■「IVR 決済ソリューション」概要

「IVR 決済ソリューション」は、TV・カタログ通販や予約サービス等、消費者が電話で商品やサービスを購入する際、クレジットカード決済を希望すると、オペレーターから自動音声に切り替わり、消費者が自らカード番号を入力し決済を完了させることが可能なサービスです（特許第5457498号）。

EC事業者は「eシェルパモール」に搭載された本機能を利用することで、自社システム・環境でクレジットカード情報を取り扱う必要がなくなるため、一般社団法人 日本クレジット協会が発表した「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画*1（以下：実行計画）」がクレジットカード加盟店に要請している「クレジットカード情報の非保持化」を実現することが可能です。



【「eシェルパモール」と「IVR 決済ソリューション」の連携イメージ】

また、本ソリューションは外線転送可能な電話機とインターネット接続した PC があれば、システム開発・連携をすることなく手軽で安価に導入でき、オペレーター1席からでも利用できます。通販事業者をはじめ、不動産会社、葬儀会社、交通機関や旅行代理店など、300社以上の各種業種の企業

NEWS RELEASE

に活用されており、事業者におけるセキュリティ環境整備の支援だけでなく、電話受注業務の負荷軽減にも貢献しています。

▶ 「IVR 決済ソリューション」概要：<https://www.veritrans.co.jp/payment/ivr.html>

■背景

Eコマースの拡大に伴いクレジットカード決済が増加する中、システム脆弱性を突いた不正アクセスによるカード情報の漏えいも拡大しています。また、漏えいしたカード情報や偽装カードを悪用した不正使用も上昇傾向にあり、2016年の被害額は140億円と2012年から5年で約2倍に増加*2しました。

このような背景を受け、「日本再興戦略」の一環としてキャッシュレス決済の普及を図る日本政府は、クレジットカードを安全に利用できる環境整備・法整備を推進しています。2016年12月には、臨時国会にて割賦販売法*3の改正法案が可決され、販売事業者ではカード情報の適切な管理と不正使用防止対策の実施、カード会社・決済代行事業者では、悪質な加盟店排除を目的に、事業者を登録制とし加盟店管理強化が義務化されました。

民間では、2016年2月にクレジット取引セキュリティ対策協議会が「実行計画」を発表しました（現在は2017年版に更新）。本実行計画では、カードを取り扱う全事業者のセキュリティ対策強化を掲げており、EC事業者においては2018年3月末までに「自社環境でのカード情報の非保持化」または「PCI-DSS*4への準拠」に加え、「多面的・重層的な不正使用対策の導入」が要請されています。

■今後の展開

ベリトランスは、社会インフラに成長した決済サービスの担い手として、実行計画が掲げる、2018年3月末に迫った非対面加盟店のカードセキュリティ強化対応を推進していきます。今後も、決済サービスにおけるリーディングカンパニーとして、政策や業界動向をスピーディに汲み取り、EC事業者・消費者に必要とされる安全安心な環境、ソリューションを内外より拡充してまいります。

*1 「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画」

http://www.j-credit.or.jp/security/pdf/plan_2017.pdf

*2 出典：「クレジットカード不正使用被害の集計結果について」一般社団法人日本クレジット協会発表

*3 割賦販売法：クレジットカード取引など割賦販売に係る公正・健全な取引の確保を目的に定められた法律

*4 PCI-DSS：「Payment Card Industry Data Security Standard」の略で、VISAやJCBなどクレジットカードの国際ブランドが共同策定したカード情報保護のためのグローバルセキュリティ基準。

NEWS RELEASE

【eシェルパモールについて】 <http://www.scroll360.jp/service/system/e-sherpamall/>
株式会社スクロール360が提供するEC一元管理システム。楽天、Yahoo!ショッピング、Amazon等のECモールの商品・販売・在庫情報を一元管理でき、モール毎の受注情報の自動取込み機能を有する。各種カートシステムとも連動することで、自社サイトとの商品・販売・在庫情報等の連携も可能に。(2016年10月から販売)

【ベリトランスについて】 <https://www.veritrans.co.jp/>
デジタルガレージグループで、オンライン決済事業を提供する決済プロバイダー。近年では、モバイルPOS、モバイルバーコード決済等のオフライン決済事業も提供。社会インフラに成長した決済サービスの担い手として、DGグループのイーコンテクトと共に、行政・クレジットカード業界への提言、政策や業界動向に応じたサービスのスピーディーな提供など、EC事業者・消費者に必要とされる安全安心な環境、ソリューションを拡充しています。